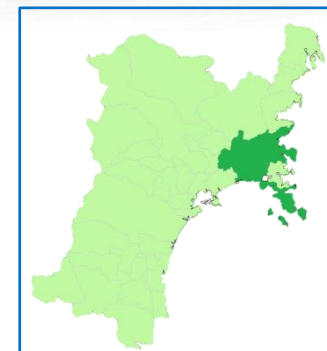




東日本大震災からの復興

— 次世代施設園芸導入加速化支援事業 宮城拠点の概要について



石巻次世代施設園芸コンソーシアム

平成26年7月

1 東日本大震災の概要（宮城県の状況）

1

1. 地震の概況等

- (1) 地震名 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震
(2) 発生日時 平成23年3月11日(金)14時46分
(3) 発生場所 三陸沖(北緯38.1度, 東経142.5度) ※牡鹿半島の東約130km
(4) 震源の深さ 24km
(5) 規模 マグニチュード9.0
(6) 最大震度 震度7(栗原市)
(7) 地盤沈下 海拔0m以下の面積56km²(震災後増加割合3.4倍)
大潮の満潮位以下の面積129km²(震災後増加割合1.9倍)
過去最高潮位以下の面積216km²(震災後増加割合1.4倍)
(8) 津波 津波の高さ:
7.2m(仙台港)(平成23年4月5日気象庁発表)
8.6m以上(石巻市鮎川)(平成23年6月3日気象庁発表)
※参考: 津波最大遡上高(宮城県土木部津波の痕跡調査結果)
南三陸町志津川 20.2m 女川町 34.7m
南三陸町歌津 26.1m

2. 被害の状況等 [平成26年4月30日現在 (3) 被害額の概要は平成26年3月10日現在]

- (1) 人的被害(継続調査中)
死者(関連死を含む。) 10,483人 行方不明者 1,279人
重傷 502人 軽傷 3,615人
- (2) 住家・非住家被害(継続調査中)
全壊 82,987棟 半壊 155,121棟
一部損壊 223,064棟
床下浸水 7,796棟 非住家被害 28,163棟
- (3) 被害額(継続調査中) 9兆1,663億円



2

1-2 被害状況(石巻市の状況)

2

地震概要(気象庁発表)

- 発生日時 平成23年3月11日(金) 14時46分
- 震央地名 牡鹿半島の東南東約130kmの三陸沖
(北緯38度06.2分/東経142度51.6分)
- 深さ 24km ○規模 M9.0 ○震度 震度6強(石巻市)

津波概要

- 津波の高さ 最大高さ T.P(東京湾平均海面) + 8.6m(鮎川:気象庁発表)
※津波計による最大高さ
- 浸水面積 73km²(H23.4.18国土地理院発表)
※市内の13.2%(平野部の約30%)が浸水
<参考> 被災6県62市町村の浸水面積合計 561km²
(石巻市の浸水面積は全国の浸水面積のおよそ13%を占める)

※T.Pとは、東京湾平均海面(Tokyo Peil)のことで、全国の標高の基準となる海水面の高さです。

石巻市の被害の状況

[]は全国(H26..5.9 警察庁発表)

- 人的被害 死者数 3,169人[15,886人]
行方不明者 432人[2,620人]
- 建物被害 全壊 20,034棟[127,382棟]
半壊 13,042棟[273,019棟]
一部損壊 23,615棟[742,206棟]
合計 56,691棟[1,142,607棟]
- 地盤沈下 最大沈降 -120cm(牡鹿地区鮎川)

※石巻市の被災住家数は、被災前全住家数の76.6%を占めます

避難状況

- 最大避難者数 50,758人(H23年3月17日時点)
- 最大避難所数 259箇所



▲日和山より津波引波時の旧北上川中瀬方向をのぞむ
(平成23年3月11日17:00撮影)

[石巻市街地の地震・津波の状況 写真]

3

- 車や船、タンク、丸太などが流出し、被害が拡大
- 火災が発生した家屋などが津波で流され、火災が拡大(類焼)



▲石巻漁港臨港道路に流出したタンク(3月15日撮影)



▲津波時に火災が発生し類焼した南浜町の状況(3月21日撮影)



▲石巻工業港背後地に流出した丸太や飼肥料(3月21日撮影)



雲雀野海岸から入った津波が南浜町を
経て門脇から旧北上川に流出
(火災を伴う) 3月11日 17:04 撮影

[石巻市街地の地震・津波の状況 写真]

4

津波が市街地へと浸水し、数日間にわたり都市機能が麻痺



▲石巻の中心市街地が津波により浸水(3月12日10:25撮影)



▲駅前通りの状況(3月12日5:49撮影)



▲大街道の状況(3月13日9:02撮影)



▲既設ポンプ場が津波で使えなくなったため、国交省のポンプ車により市街地に湛水した水を排水(3月13日10:20撮影)